

SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



目次

☆ヒューマンフラザまつり参加報告 ……2

特集

☆10. 30大フォーラム、
実習所報告 ……3

☆虫めがね ……4

☆学習会 ……5

☆谷島先生を偲んで ……6

～2大連載～

☆太田さん連載 ……7

☆小野塚さん連載 ……8

～ボランティアさんに紹介されました～

☆車椅子バスケットに行ってきました ……9

☆びっくりスケッチBOOK、夕会 ……10

☆寄付のお礼
きょうされん大会協賛のお願い ……11

☆編集後記、スケジュール ……12

2007年
11
月号

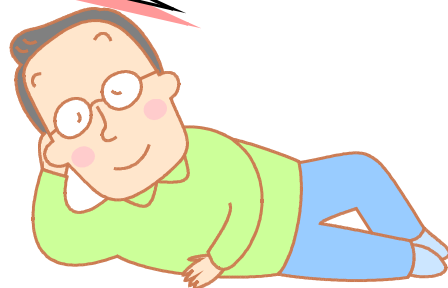




ヒューマンプラザまつり 参加報告！

今年もキノコが、美味しい季節になってきましたが、皆さん、毒キノコには気をつけましょう。

太田 稔



いろいろありますよ



07年11月4日（日）港区障害保健福祉センター（別名ヒューマンプラザ）で第9回ヒューマンプラザまつりが開催されました。私たちの会場は、7階の竹芝小記念ホールで、企画のカレンダー各種と工房で作った会オリジナルの商品を販売しました。当日は、大盛況で多くの家族連れや近所の人々で賑わい終わりました。

三木 直人



毎度ごとく

十一月四日（日）午前十時～午後三時まで、障害保健福祉センターにて、第九回ヒューマンプラザまつりが行われました。昨年は、エレベーター事故のため中止になっていました。そのため、久しぶりのような感じがしました。風の子は七階の竹芝小記念ホールにて、工房と企画の各班に分かれて売店を行いました。休憩の班は各階で行われているイベントやゲームに参加をしました。売店の方には武井区長もお見えになりました。ただ、客の入りは例年よりも若干少なかったように思います。そのため、売り上げにも影響があったように思います。最後になりましたが、風の子に来ていただいたボランティアさんやお客様、ご協力していただきありがとうございます。また来年も行われる際にはご協力お願いいたします。

田中 聡

10, 30 大フォーラム

10月30日(火)に、日比谷公園にて、全国からきょうされんに加入をしている作業所及び実習所で働いている人々が集まって、大フォーラムに参加してきました。11時ごろに日比谷公園の方に到着しました。はじめは、昼食を兼ねて大フォーラムが行われている会場まで向かう予定でしたが、会場に集まった参加者がすごく、入れませんでした。そのため、昼食は公園内のベンチに腰掛けて昼食を摂りました。その後、皆で会場へ向かいました。会場では、野党と与党のバトルや障害者の「僕たちの想いを聞いて・・・」などが行われていました。今回は、デモ行進は行われませんでした。風の子は、送迎の関係で一足早めに会場を後にしました。最後に、今回行われた大フォーラムが少しでも国会議員の皆さんにこの想いが届くといいなあ。

田中 聡

集会の合間に日比谷公園を散歩
(噴水の前にて)



高浜実習所報告

今月は牛乳パックをはさみで切る仕事をしました。やっている時に指のやけどみたくなっていました。左の手を使うから、傷口がそこだけひどくなっていました。まだ痛いんです。私は工房でやっています。それから箸の袋入れ等もしています。箸の袋入れもとても楽しいです。みんなで仕事として新しく流れ作業をしたい。箱に入れる人や色々分担で仕事が出来たらいいと思います。

近岡 真由美

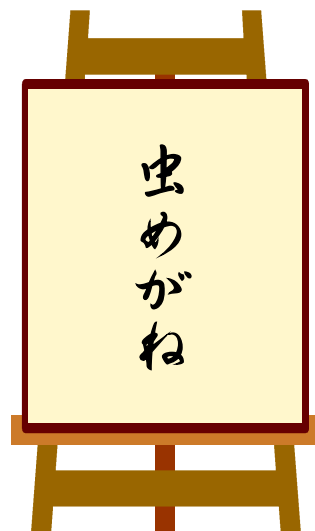


実習所報告

港南実習所報告

十月には区民まつりがあり、十一月にはヒューマンプラザまつりがあります。港南実習所もまつりの準備に大忙しです。加えて来年度カレンダーのパックの折り込み作業や営業まわりなど、この時期は何かと忙しいです。世間でいう一番忙しい時期“師走”までこのドタバタは続くのでしょうか。

小野塚 航



『好きなもの・嫌いなもの』第二回目です。今回の担当メンバーは和栗さん、太田稔さん、松本さん、吉田さんです。好きなものや嫌いなものってその人の性格が出ますね。

） ・ ） ・ ）

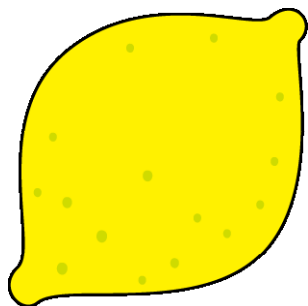
私が好きな食べ物というと、どうも酒の肴みたいな食べ物の子供の頃から大好きで、よく母にお前は大人の酒飲みみたいと笑われました。第一に好きなのは、まぐろの中トロの刺身で、生物や魚介類ならなんでも大好きで、にぎり寿司、鉄火丼は大好物です。その他に好きな食べ物では塩辛、すずこ、イクラ、焼かないたらこ、うに、かき、帆立て貝、野菜では、トマト、里芋、大根、白菜、キャベツ、シヨウガ、みょうが、嫌いな食べ物は、野菜の煮付けぐらいな物で、たいていの食べ物には食べられません。

和栗 頭太郎



ぼくの嫌いな食べ物は薩摩芋。子供の頃は好きだったのですが、大人になってからは嫌いになってしまいました。いつからかと言えば、それはお酒を飲むようになってからのことです。逆に子供の頃嫌いだった物で今は大好きな物はイカの塩辛です。要はお酒を飲むようになってから好みが変わり変わったといえます。

太田 稔

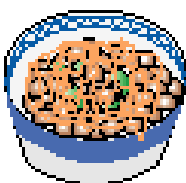


嫌いな食べ物は酸っぱい梅干しとレモンと果物です。好きな食べ物は、さかな網焼き、寿司ネタ、かつおの刺身舟盛り大好き。それに乗った炊き込みご飯、ハンバーグやすいとん。野菜いっぱい入れた味噌汁。おかゆ、しらす、親子丼、たくあん。やきとり好き。おしるこも好き。雑炊、とろてんには練りカラシ。栗ようかんはおやつに食べます。美味しいあんこたままないよ。

松本 恵司



糸を引くような、ねばねばしたものが大嫌いです。納豆、おくら、山芋など、とにかく白いご飯の上に何かをかけてしまうのがイヤなのです。なので、炊き込みご飯も、好きではありません。最近、歳をとってきたので、栄養などを考えるようになりました。ですから、納豆だけは、嫌々、食事をする前に、スプーンで砂糖としようゆを混ぜ合わせ、食べています。お菓子代わりに無理をして口の中に入れていきます。ねぎとしようゆで食べるなんて、私には、出来ません。かえって、気持ちが悪い食べ方なんて思われるかもしれませぬ。でも、私は、努力しているのですよ。納豆を食べることに。それから白身の魚も食べられません。赤身の魚、お刺身は少しだけ食べられます。大好物というものは、何もないです。夢のない、味気ない食生活ですね。



吉田 久代

学習会報告

担当：佐久間



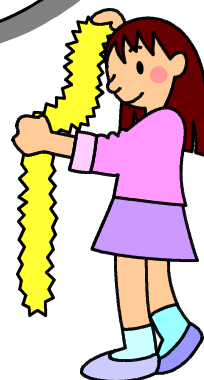
10月10日

急遽予定を変更して、前半は区民まつりの片付け、後半はビデオ鑑賞『エンタの神様』をみて楽しみました。懐かしいお笑いタレントが出ていました。2、3年経つとブレイクしているタレントと、あの人は今といったタレントが出ていました。時の流れは早いと思いました。

10月3日

区民まつりの準備

工房では自主製品作りをして、区民まつりの班割表なども作りました。企画ではカレンダーの準備をしていました。主に見本に貼るコメントと絵を作っていました。



10月24日

河原さんの怖い話、連想ゲーム

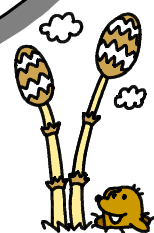
職員の河原さんが怖い話をしてくださいました。普段から怖い話をしているので、慣れていました。女の方は怖い話が苦手な人が多く後ろの方に逃げていました。

後半は連想ゲームを行いました。出題者がヒントはずれなので、味方なのに敵チームのような気がしました。

10月17日

前半は田村君出題の国語の勉強、後半は山手線ゲームをしました。まず二班に分かれてゲーム形式で行われました。国語は田村君が考えてきた省略語、カタカナ語の正式名称を当てたり、漢数字の入る熟語・ことわざを当てるゲームでした。

後半の山手線ゲームは47都道府県やジャニーズ所属タレント当てゲームを行いました。以前都道府県はやったので復習みたいでしたが、ジャニーズ当てはよくみんな知っていたと思います。どちらも盛り上がっていました。





長らく風の子会にボランティア、そして顧問としてご尽力下さった、谷島正康先生が九月十七日（月）に永眠なさいました。

先生は特に、毎週水曜日に東京都障害者福祉会館で行われていた「水曜学習会」の中心として、メンバー一同、大変お世話になりました。

皆の感謝の気持ちを代表して、今回、太田圭子さんより追悼文を捧げさせていただきます。

私が谷島先生と初めてお会いしたのは、今から二十二、三年前の初秋の頃だったと思います。一人で車イスを動かせた私が昼休み、メンバーから離れて障館のロビーの前に来たら、壁に貼られたポスターを見ていた先生にお会

いし、その後ろ姿がとても強く印象に残っています。先生は物静かで地味な性格で、ご自分の考えを、決して私達には押しつけない教えかたをする方でした。寂しがり屋で賑やかな方が好き、風の子へボランティアとして来てくれるようになってからは、本格的な水曜学習会が始まり先生は「国語、数学、理科、社会、地理、英語」などを教えて下さり、教え子や義兄や友人を巻き込んでその方達は「外国の話、お酒やパンの話、樹木の話」などをして下さいました。俳句作りにも長いこと取り組みましたし、ときにはメンバーも先生になって自分の得意なことを話したりして本当に楽しかったです。風の子会の顧問にもなってくださり表参道のバザーや区民祭りに参加をして、古本屋になり黙々と本の整理をしていた先生の姿も目に浮かびます。先生にはもともと色々な事を教えてもらいたかったと残念でした。が有りませ

ん。私の今までの人生においてただ一人の教師だった、谷島先生のご冥福を心からお祈り致します。

太田 圭子

芝実習所にて



外に出よう横浜の時

母の思い出

第五回

太田 稔

「ここであちよつと妹の話を書いてみよう。妹は昭和二十年一月生まれ、名前は美知子（もつともあるとき姓名判
断士に観てもらったところ字数が悪いとかで今の久美子に改名）妹は父を知らない。何故かと言えば母のお腹にい
る時に父が戦死したからだ。僕とは違って彼女は順調に育って行く。父方の祖父祖母はそんな久美を可愛がった。母
は東京に出るときこう思った「美知子はここにしばらく預かってもらおう、でも美知子必ず迎えに来るからねえ」かすか
だが出発の日、バスの停留所まで見送りに来たのは祖母と妹だったように記憶している。このとき妹は初めて「お兄ちゃん
お母ちゃん行かないで」と言いながら激しく泣いた。（書いているうちにだんだん思い出して来た）母と僕は当時引揚者で満
員だった東海道線に乗り込んだのは良かったのだが今の言葉で言うと乗車率五百%ぐらい、このため列車には乗れず列車と列車
との連結で一夜を暮らすことになった。しかし昔の東海道線には、幌がない為風が吹き込む。おまけに台湾坊主と重なったらし
く（二、三月頃台湾で発生して発達しながら、日本の太平洋側を通る低気圧、これが来るとたいい雪になる）列車に乗るとすぐ
雪が降り始める。幼い僕は母に言う「お母ちゃん寒いよう、寒いんだってばあーだんだん暗くなつて来た。子供はたいい暗い
ところを嫌がる（いや僕だけかもしれないが）とにかく僕は泣き始めた。母は芋飴を口の中に入れてくれる。ところが子供とい
うのは、現金な物で飴が口に入っているうちは泣かないのだが口になくなるとすぐに泣き出してしまふ。途方に暮れる母、午後六時
頃乗車した東海道線は、まだ走り始めて二時間足らず、このままで言ったら稔も私も凍え死んでしまふ。「どうしよう」だがその
時である。若い車掌さんが「乗車券を拝見いたします」といいながら向こうの車両からやってきて連結にいる僕たちを見つけて
駆け寄ってきた。「あのう失礼ですけれど、どちらまでお乗りになるのですか」母は車掌に乗車券を見せる。「東京までねえ、こ
の列車はまだ京都にも着かないのですよ、悪いことは言いませんから京都で下車してこの辺の宿屋にでも泊まって明日の朝に
でもゆつくり出発なさった方がいいと思います。それに朝はこれほど混まないしねえ」母はこのときお金を持っていないかつ
た。母は車掌に言う「そうはしたいのですがお金がないのです。ですから構わないで下さい」車掌は言う、「それにしても
連結はひどい」しばらく考えていたがやがて座席の方を振り返ってこう叫んでくれたのである。「ご乗車の皆様方に車掌
からお願ひがあります。女の方がお子さん連れでこの列車に乗り込んできました、ごらん通りの超満員です。こ
の女の方は何と連結の上で寝ようとしていたのです。そしてお子さんも体が悪いらしいのです。ご乗車中の皆さ
ん、この親子に座席を譲ってあげて下さい。車掌からのお願ひでございます。今の時代ならこんな事を言わ
なくても席はお願ひすれば譲ってくれる。けれど終戦で心も体も疲れ切った人たちばかりで、そんな余
裕なぞなかった。しかし車掌さんが呼びかけた後少し遅れて一番後ろの座席から若い男の人が立
つてこういった「僕の席に座って下さい」と、母はその席まで行くのに三分くらいかかっ
てようやくたどり着いた。

次回に続く

わたるのドミトリーライフ

【ドミトリーとは英語の dormitory つまり寮という意味】

第4話 自治寮という形

僕がいた学生寮は自治という形態をとっていた。寮母や管理人というものを置かずに全ての運営を学生が行うのだ。学校との交渉も、寮費や食費の管理も、寮内の風紀もすべて自分達です。1年の頃はそういった制度やルールに戸惑いもしたが、時と共に慣れていき、やがて自分達が先輩となった時には新しい1年にルールを教え、伝えていく。

伝承、というのはやや大袈裟な気もするが、そういうものがこの寮にはあった。

自治を行うにあたっては、基本的に3つの委員会が役割をそれぞれに担う。寮費の管理、年間行事の作成及び調整、学校側との交渉などを行うのが運営委員会。食費を寮生から集めて管理し、滞納している寮生には注意やペナルティーを与える役割を担うのが食堂委員会。コンパや遊びの行事の幹事役を行うのが文化局。この3つの委員会の委員は選挙によって選ばれ、それぞれ半年間の任期を全うする。任期が終わる時期には寮生大会という全体集会が行われる。この会議は原則として全寮生に出席義務があり、半年間の決算報告、行事報告、トラブル報告、問題解決のための話し合いなど諸々の議案について議論する。話し合いが長引けば、夜遅くまでかかる事もある。最終的には多数決という形を取るが、基本的には全員が納得するまで問題について話し合う。この寮生大会が終わると、次の選挙で新しく選ばれた委員達が、次の半年間の任期を引き継ぐ。

委員を務めていない人も含めて全寮生はフロア委員という役割を担っている。寮内の廊下やトイレ、食堂、玄関、風呂などの掃除は交代制で行う。足りなくなったトイレレットペーパーの交換や切れかけている蛍光灯の取り替えも各自です（これら生活用品の補充は運営委員が担当する）。当然、サボる寮生も出てくるが、そういう時は誰かが指摘し、注意する。フロア委員は各階毎に別れていて、それぞれフロアリーダーが各階を指揮する。リーダーの力量次第で、その階は統率が取れていたりいなかったりする。しっかりしたリーダーがいる階は廊下もトイレも綺麗だが、そうでないリーダーの場合は廊下はゴミ袋の山で歩くのもままならない状態だったり、トイレは駅前の公衆便所並みのおそろしい臭いを発している。今にして思えば、あんな環境に4年も5年もよく生活していたものだと思ってしまう。

風呂は1階にある共同風呂を利用する。当番制で水入れと湯沸かしと床掃除を行うのだが、当然ここにもサボりは出てくる。一応、夕方過ぎには風呂の準備は整っているはずなのだが、いざ風呂場へいってみると浴槽はすっからかんだり、昨晚の湯がそのまま水となってはっていることもある。男子風呂は結構広いスペースで、7、8人が湯舟につかれるくらいはあるので風呂の準備は手間も時間もかかる。床はコンクリート敷きなので、まめに掃除をしないとすぐに垢だらけのヌメヌメとした床になってしまう。そんな風呂でもみんなで入れば楽しかったし、バカ騒ぎが出来たのはなんととっても若さ故だろう。

生活の全般を自分達で規定し、ルールを作りそれを守って暮らしていく、そういう自治寮という中で生きていく事で僕は様々な事を学んだと思う。普通に家から通う大学生活では決して得られないような経験も多くした。ただ、こういう寮生活が僕に多くの自堕落さを覚えさせたのも事実だが・・・

～ 第5話へ続く ～

車椅子バスケット ご報告

先日の十月二十七日に東京体育館で行われた、車椅子バスケットボール体験に参加してきました。

トップ選手の方十人に来ていただき、指導員になっていただきました。グループに分かれ競技用車椅子に乗り、操作体験やパス・ドリブル・シュートなどの基本練習をしました。後に現役選手によるデモンストレーションマッチを行っていただきました（一チームスタメン人数は五人の為）。さすが障害者スポーツの花形競技なだけあり激しくて（衝突・転倒は当たり前）、観客皆凄く興奮するシーソーゲームでしたが、結果は引き分けと言う最高の試合でした。

その後グループ対抗の練習試合を計三戦行いました（四グループのため）。一グループが十人以上と多く交替交替のためあまり出場機会がありませんでしたが、それでも延べ十分ほど出場できました（一試合五分ハーフ）。さすがにプレイし足りませんでした。デモマッチではロングスローやフェイクは当たり前、凄いテクニクを何度も観ました。字では表現が全然出来ないのが残念です。一度は是非生で見たいです。熱狂する事は保証します。なかなか見る機会が少

ないのですが、左に日程等の詳細を記載します。



毎年ゴールデンウィークに東京体育館で選手権大会と言う凄い大会が行われます。来ていただいた選手の言葉を少し使わせていただきますと、「ゴールデンウィークで旅行などに掛ける人が多いため、いつも観客席はガラガラです。一度是非見に来てください。後悔はさせません。」

詳細などは左記のパソコン用アドレスへ。前述の大会以外も沢山ありますので是非試合を御覧下さい。

<http://www.jwbj.gr.jp/>



みんなで
ハイ、チーズ！！
(^ ^ ケケケ

田村 亮彦

去る十月二十七日（土）、車椅子バスケットにチャレンジ！というイベントに今年をはじめ、参加させて頂きました。僕はこのイベントに参加するかなり以前、もうかれこれ数年前のことですが、ある切っ掛けがもとで当時、東京で最強の車椅子バスケットボールチームと言われていた「東京ファイターズ」に見習いという立場で正味数ヶ月間在籍させて頂いたことがありました。その頃の経験があつたおかげで、久々に良い汗を流すことが出来ました。僕自身、だいぶ動机的に忘れていたり、基本的な車椅子の操作もぎこちなかったりしましたが、しばらくみなさんと一緒に練習試合や、パス練習をやっていると、徐々に当時の感覚が戻ってくるようになりました。ただ一つ心残りは、ちょうどその日は悪天候で、季節はずれの台風に見舞われた為、行き帰りに交通機関の乗り継ぎ等にとっても苦労しました。けれど、そんなことなど忘れさせてくれるほど無の状態になることが出来ました。本当にありがとうございました。

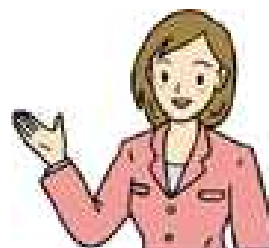


天海 隆一

びっくりイラストBOOK

今から九年前、風の子会二十周年記念式典が各方面の来賓をお招きして、華やかに開かれました。この式典とパーティーの総司会をやってくれと、井出さんから私に言われたが、そんな大役出来ないとお断りしました。井出さんは、和栗さんだからこの大役を頼むのだ、武藤さんもボクが付いて上げるから、良い機会だからやった方が後でいい思い出になると言われ、恐る恐る引き受けました。いよいよ当日の朝、ホームの職員さんが、和栗さんの晴れ舞台だから三ッ揃えの背広を着せてくれました。風の子会に寄贈された当時最新型電動車椅子に乗ってホームのロビーで迎えの来るのを待っていると、玄関に白のブラウスに紺のスーツ姿の一目キャリアウーマンの様な女性がさっそうと入ってきた、見ると岡さんではありませんかっ！その姿に私の胸は高鳴りました。何てステキな人なんだろう。その後おつき合いをして素晴らしい女性だと思いました。

和栗 顕太郎



夕会便り

十月十三日

まず始めに朝会夕会で、『ヒューマンプラザまつり』への参加意向を皆に聞きました。

次に、『きょうされん大会』関係の議題について話し合いました。十二月二十一日と二十二日の二日間で行われるため、メンバーにいつ参加するかアンケートを採りました（片方のみ・両日参加・両日不参加）。

十月二十日

まず、『インフルエンザの予防接種』について話し合いました。接種を受ける方の希望を募りました。

次に、『きょうされん大会』について話し合いました。結果、大体のメンバーは二日間の内一日だけに出ることになりました。



田村 亮彦

お知らせ

大変好評を博しております、和栗顕太郎さんの連載「シベリア出兵秘話」は、今月号休載とさせていただきます。来月号には再開予定です、しばらくお待ち下さい。

また、各連載のご意見、ご感想等お待ちしております。



きょうされん第30回全国大会 in とうきょう 協賛のお願い

風の子会が加盟している作業所の全国組織「きょうされん」の第30回全国大会が東京で開かれます。1977年、「どんなに重い障害があっても、仲間とともに働きたい」というねがいを実現させるために結成されたきょうされんも、今回30周年を迎えます。

30周年の歩みを振り返るとともに、昨年より施行された「障害者自立支援法」をめぐる動きの中で、首都東京で開催されるという、大変重要な大会になるそうです。

日程は12月21日（金）は東京ビッグサイトでセレモニーや記念講演、22日（土）は上智大学で分科会を行います。

風の子会は、ここ数年、地方各地で開催されていた全国大会の参加は（主に経済的な事情により）見送ってきましたが、地元東京での開催ということで、希望者全員で2日間の大会に参加すべく、準備をしています。

このたび、きょうされん大会事務局より、全国大会を成功させるために多くの皆様のご協力が必要という依頼があり、折り込みチラシ（郵便振替用紙付き）を同封させていただきました。是非ともチラシをご覧になり、ご協力いただければと思います。

よろしくお願ひします。



